

エコアクション21 環境経営レポート



取組期間 2023年 7月 1日～2024年 6月 30日

発行 2024年 8月 5日



株式会社 神詫組

【 目 次 】

- 1 事業活動の概要
- 2 組織図
- 3 環境経営方針
- 4 環境経営目標【中・長期目的・目標】及びその実績
- 5 環境経営計画とその結果
- 6 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画
- 7 環境活動の取組
- 8 主な環境関連法規等の遵守状況
- 9 代表者による全体の評価と見直し

【事業活動の概要】

□事業活動の概要

(1) 名称及び代表者

株式会社 神詫組
代表取締役 詫間 正章

(2) 所在地

本 社 香川県三豊市詫間町詫間538-1
資材倉庫 香川県三豊市詫間町詫間554-3,4
資材置場 香川県三豊市詫間町詫間553

(3) 環境管理責任者

環境管理責任者
工事部 藤田 聡 0875-83-3333

(4) 事業内容

建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業
解体工事業、不動産業、大工工事業、石工事業、管工事業
鋼構造物工事業、舗装工事業、板金工事業、塗装工事業、内装仕上工事業、建具工事業
左官工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鉄筋工事業
しゅんせつ工事業、ガラス工事業、防水工事業、熱絶縁工事業、水道設備工事業
(香川県知事許可(特-4)第1777号)
一級建築士事務所(香川県知事登録 第717号)
宅地建物取引業者(香川県知事(10) 第2725号)

(5) 事業の規模

売上高 689.5百 万円
工事等の件数 305 件

	本社	資材倉庫	資材置場
従業員	15名	無人	無人
延べ床面積	587㎡	813㎡	1500㎡

(6) 事業年度

4月 ～ 3月

□レポートの対象期間

2023年 7月 1日 ～ 2024年 6月 30日

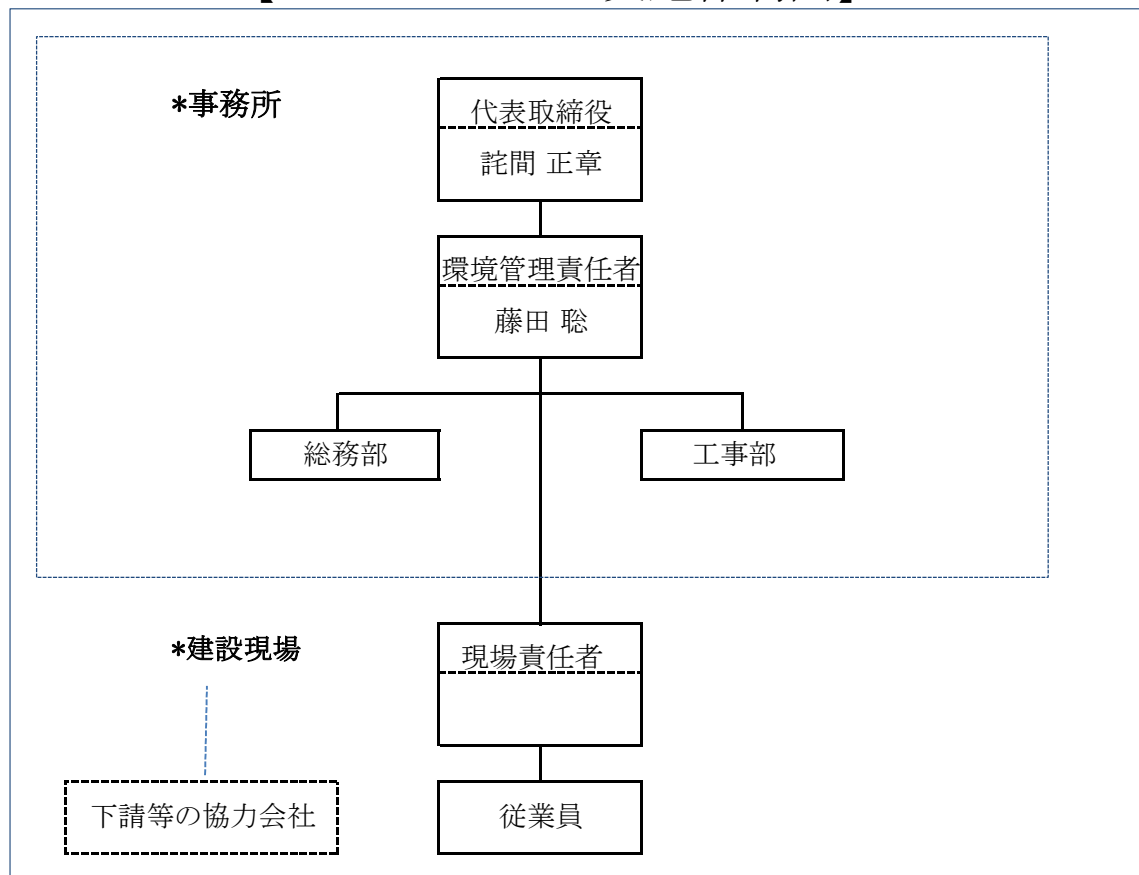
発行日 2024年8月 5日

□認証・登録の対象範囲

登録事業者 : 株式会社 神詫組
登録事業所 : 本社、資材倉庫、資材置場
事業活動 : 建築工事業、土木工事業、とび・土工工事業、解体工事業
一級建築士事務所
不動産業

組 織 図

株式会社 神 詫 組 【エコアクション21実施体制図】



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境法規制等遵守チェックリストの承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境法規制等遵守チェックリストの承認 ・環境経営目標、環境活動計画書を作成 ・環境経営の取り組み結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営の実績集計
	工事部	・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
現場責任者		・現場における環境経営方針の周知 ・現場の従業員に対する教育訓練の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

株式会社神詫組

環境経営方針

基本理念

「郷土に育つ」

株式会社神詫組は、常に誠実にして、お客様に安心して住んでいただける質のいい建物を創るという信念のもと、時代の要請に応え、環境負荷の少ない人に優しい郷土づくりに貢献します。

行動指針

1. 事業活動において、積極的に下記取り組みを展開し、継続的改善活動を行います。
 - ①省エネ活動の推進。
 - ②廃棄物の3R化の推進。
 - ③水使用量削減の推進。
 - ④環境に配慮した設計や施工の展開。
 - ⑤地域ボランティア活動へ積極的な参加。
2. 環境関連の法規・条例・規則等を遵守し、地域の環境汚染防止に努めます。
3. 人材育成を積極的に推進します。
4. 環境経営方針は、全ての従業員及び協力会社様に周知するとともに、環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日： 2013年 7月 1日

改訂日： 2021年 9月 17日

株式会社神詫組

代表取締役 詫 間 正 章

【中・長期環境経営目標】

目的	単位	目 標			
		基準年（2019年度）	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	34,015	33,845	33,675	33,507
・電気使用量の削減	kWh	19,641	19,543	19,445	19,346
・灯油使用量の削減	L	1,983	1,973	1,963	1,953
・ガソリン使用量の削減	L	7,181	7,145	7,109	7,073
・軽油使用量の削減	L	773	769	765	761
一般廃棄物排出量の削減	kg	50	50	50	49
産業廃棄物の再資源化 ＊2	%	96.1%	96.6%	97.1%	97.6%
水総使用量の削減	m ³	142	141	141	140
環境に配慮した材料の提案	提案件数	15	17	19	21
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査

＊1. 電力のCO2 発生量については、

環境省2020年1月7日公表四国電力調整後排出係数0.528(kg-CO2/kWh)を適用。

☆2019年の実績を基準年として3年間の目標を設定、環境目標の削減は3年間で1.5%の削減を設定

但し、産業廃棄物の再資源化は2016年～2019年 3ヵ年の平均とする。

○事務所

目的	単位	目 標			
		基準年（2019年度）	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	14,298	14,227	14,155	14,084
・電気使用量の削減	kWh	15,121	15,045	14,970	14,894
・灯油使用量の削減	L	1,540	1,532	1,525	1,517
・ガソリン使用量の削減	L	1,066	1,061	1,055	1,050
一般廃棄物排出量の削減	kg	50	50	50	49
水総使用量の削減	m ³	142	141	141	140

○現場

目的	単位	目 標			
		基準年（2019年度）	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	19,717	19,618	19,520	19,423
・電気使用量の削減	kWh	4,520	4,497	4,475	4,452
・灯油使用量の削減	L	443	441	439	436
・ガソリン使用量の削減	L	6,115	6,084	6,054	6,023
・軽油使用量の削減	L	773	769	765	761
産業廃棄物排出量の再資源化	%	96.1%	96.6%	97.1%	97.6%
環境に配慮した材料の提案	提案件数	15	17	19	21
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査

＊2022年度の目標に取組みます。

【中・長期環境経営目標】

目的	単位	目 標			
		基準年（2022年度）	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	33,669	33,500	33,332	33,164
・電気使用量の削減	kWh	24,093	23,973	23,852	23,732
・灯油使用量の削減	L	2,152	2,141	2,130	2,120
・ガソリン使用量の削減	L	6,112	6,082	6,051	6,021
・軽油使用量の削減	L	546	543	540	538
一般廃棄物排出量の削減	kg	49	49	49	48
産業廃棄物の再資源化 ＊2	%	96.6%	97.1%	97.6%	98.1%
水総使用量の削減	m ³	145	144	144	143
環境に配慮した材料の提案	提案件数	18	19	20	21
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査

＊1. 電力のCO2 発生量については、

環境省2023年12月22日公表四国電力調整後排出係数0.454(kg-CO2/kWh)を適用。

☆2022年の実績を基準年として3年間の目標を設定、環境目標の削減は3年間で1.5%の削減を設定

但し、産業廃棄物の再資源化は2016年～2019年 3ヵ年の平均とする。

○事務所

目的	単位	目 標			
		基準年（2022年度）	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	16,351	16,269	16,187	16,105
・電気使用量の削減	kWh	20,354	20,252	20,150	20,049
・灯油使用量の削減	L	1,779	1,770	1,761	1,752
・ガソリン使用量の削減	L	506	503	501	498
一般廃棄物排出量の削減	kg	49	49	49	48
水総使用量の削減	m ³	145	144	144	143

○現場

目的	単位	目 標			
		基準年（2022年度）	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	17,318	17,232	17,145	17,058
・電気使用量の削減	kWh	3,739	3,720	3,702	3,683
・灯油使用量の削減	L	373	371	369	367
・ガソリン使用量の削減	L	5,606	5,578	5,550	5,522
・軽油使用量の削減	L	546	543	540	538
産業廃棄物排出量の再資源化	%	96.6%	97.1%	97.6%	98.1%
環境に配慮した材料の提案	提案件数	18	19	20	21
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査

*2023年度の目標に取組みます。

【環境経営目標 2023年度目標実績】

○全体

目的	単位	基準年	目標	実績	達成状況	評価
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	33,669	33,500	34,230.16	2.1% 増	×
・電気使用量の削減	kWh	24,093	23,973	21,223.00	-11.4% 減	○
・灯油使用量の削減	L	2,152	2,141	2,308.00	7.8% 増	×
・ガソリン使用量の削減	L	6,112	6,082	7,031.44	15.6% 増	×
・軽油使用量の削減	L	546	543	982.51	80.9% 増	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	49	49	49.00	100%	○
産業廃棄物の再資源化	%	96.6%	97.1%	98.30%	1.2% 増	○
水総使用量の削減	m ³	145	144	305.00	111.8% 増	×
環境に配慮した材料の提案	提案件数	18	19	19	±0件	○
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	100%	○

＊1. 電力のCO2 発生量については、

環境省2023年12月22日公表四国電力調整後排出係数0.454(kg-CO2/kWh)を適用。

ガスは少量のため個別の目標設定はしていません。

産業廃棄物の搬出量 11,281.2t

○事務所

目的	単位	基準年	目標	実績	達成状況	評価
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	16,351	16,269	12,201.38	-25.0% 減	○
・電気使用量の削減	kWh	20,354	20,252	16,269.00	-19.6% 減	○
・灯油使用量の削減	L	1,779	1,770	1,528.00	-13.6% 減	○
・ガソリン使用量の削減	L	506	503	435.50	-13.4% 減	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	49	49	49.00	100%	○
水総使用量の削減	m ³	145	144	305.00	111.8% 増	×

○現場

目的	単位	基準年	目標	実績	達成状況	評価
二酸化炭素排出量の削減 ＊1	kg-CO2	17,318	17,232	22,028.78	27.8% 増	×
・電気使用量の削減	kWh	3,739	3,720	4,954.00	33.1% 増	×
・灯油使用量の削減	L	373	371	780.00	110% 増	×
・ガソリン使用量の削減	L	5,606	5,578	6,595.94	18.2% 増	×
・軽油使用量の削減	L	546	543	982.51	80.9% 増	×
産業廃棄物排出量の再資源化	%	96.6%	97.1%	98.30%	1.2% 増	○
環境に配慮した材料の提案	提案件数	18	19	19	±0件	○
化学物質使用量の削減	品目	使用材料の調査	使用材料の調査	使用材料の調査	100%	○

※産業廃棄物再資源化は特別管理廃棄物を除く。

コメント

二酸化炭素排出量の削減	事務所の電気、灯油、ガソリン共に使用料は削減できた。 現場については大型工事があったため、削減にはいかなかった。
廃棄物排出量の削減(再資源化)	今年度は大型の解体工事があったものの目標達成ができた。
水総使用量の削減	漏水の為に目標達成に及ばなかった。
環境に配慮した材料の使用	材料発注の際に環境に配慮した仕上げ材を選定するように心がけている。又、お施主様へ天然素材を提案。
化学物質使用量の削減	使用材料の調査(床材、壁材、クロス、のり、ボード、耐水ボード、接着剤の6品目)でPRTRIに 適応する材料の使用は無かった。

【環境経営計画とその結果】

○事務所

取組項目	活動内容	具体的実施項目	実施責任者	評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	①使用しない部屋のエアコンは停止する	総務部長	△
		②昼休み使用していない部屋の照明は消しておく	総務部長	○
		③古い設備機器の見直しを行う	総務部長	△
	灯油の削減	①使用しない部屋のストーブは消しておく	工事部長	△
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブ教育実施	工事部長	○
		②エコドライブの励行	工事部長	○
		③車の日常点検実施	工事部長	○
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏紙再利用の強化	総務部長	○
水使用量削減	節水	①節水シールの貼付とポスター掲示	総務部長	○
		②節水の為に止水弁を少し閉めておく	総務部長	○
		③植木散水等で水道を出しっ放しとしない	総務部長	○

○現場

取組項目	活動内容	具体的実施項目	実施責任者	評価
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	①節電行動のルールを決めて掲示	工事部長	○
	灯油の削減	①使用しない部屋のストーブは消しておく	工事部長	○
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブ教育実施	工事部長	○
		②エコドライブの励行	工事部長	○
		③車の日常点検実施	工事部長	○
廃棄物	産業廃棄物の再資源化	①廃棄物の分別を徹底し協力業者にもお願いする	工事部長	○
化学物質	化学物質使用量の削減	①SDSを確認し、適切な資材の使用	工事部長	○
環境に配慮した材料の使用	環境に配慮した材料の使用	①材料を注文する際に、環境に配慮した材料を選定する。	工事部長	○

※ 評価覧の記入 ○:達成 △:一部出来なかった ×:出来なかった

【環境経営計画の取組結果の評価、次年度の環境経営計画】

○事務所

目的	評価に対するコメント	次年度の環境経営計画
二酸化炭素 排出量削減	夏の暑さや冬の寒さ対策として不在時にもエアコン、ストーブをつけているが止む得ない部分もある。昼休みの電気の消灯については実施できている。	古い設備機器の見直しを実施していく。
	エコドライブの教育と車の日常点検は出来ているが、エコドライブの励行は十分とはいえない。	エコドライブの状況を社用車搭載のドライブレコーダーにて確認を行い注意をする。
廃棄物排出 量削減	コピー用紙の裏紙利用の強化を図ることで、裏紙の利用は出来ている。	継続する。
水使用量削減	節水シールを貼り、水の出しっぱなしに気をつけるようになった。また、止水弁を絞り節水効果も高まった。	事務所のトイレ改修を検討している。

○現 場

目的	評価に対するコメント	次年度の環境経営計画
二酸化炭素	昼休みの消灯及び使用していない電気機器類の電源OFFについても実施できている。	従来の取組みを引続き継続する。
	エコドライブの教育と車の日常点検は出来ているが、エコドライブの励行は十分とはいえない。	エコドライブの状況を社用車搭載のドライブレコーダーにて確認を行い注意をする。
廃棄物	産業廃棄物 分別の徹底を下請協力会社に依頼したが、徹底は十分とはいえない。	残材処分の際に分別を心がけるように指導する。
化学物質	SDSを確認し適切な資材を使用している。	引き続きSDSを確認し適切な資材を使用していく。
環境に配慮した材料の使用	材料発注の際に天然素材等の仕上げ材を選定するように心掛けている。又、お施主様へ出来るだけ天然素材等を提案するように心掛けた。	引き続き心掛けて、お施主様に提案する。

【次年度の環境経営計画】

○事務所

取組項目	活動内容	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	①使用しない部屋のエアコンは停止する	総務部長
		②昼休み使用していない部屋の照明は消しておく	総務部長
		③古い設備機器の見直しを行う	総務部長
	灯油の削減	①使用しない部屋のストーブは消しておく	工事部長
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブ教育実施	工事部長
		②エコドライブの励行	工事部長
		③車の日常点検実施	工事部長
		④ドライブレコーダーの活用	工事部長
廃棄物排出量削減	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の裏紙再利用の強化	総務部長
水使用量削減	節水	①節水シールの貼付とポスター掲示	総務部長
		②節水の為に止水弁を少し閉めておく	総務部長
		③植木散水等で水道を出しっ放しとしない	総務部長
		④事務所トイレの改善	総務部長

○現 場

取組項目	活動内容	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	①節電行動のルールを決めて掲示	工事部長
	灯油の削減	①使用しない部屋のストーブは消しておく	工事部長
	ガソリン使用量の削減	①エコドライブ教育実施	工事部長
		②エコドライブの励行	工事部長
		③車の日常点検実施	工事部長
		④ドライブレコーダーの活用	工事部長
廃棄物	産業廃棄物の再資源化	①廃棄物の分別を徹底し協力業者にもお願いする	工事部長
化学物質	化学物質使用量の削減	①SDSを確認し、適切な資材の使用	工事部長
環境に配慮した材料の使用	環境に配慮した材料の使用	①材料を注文する際に、環境に配慮した材料を選定する。	工事部長

※ 評価覧の記入 ○:達成 △:一部出来なかった ×:出来なかった

【環境活動の取組】

○的場山清掃活動



○省エネ啓発ステッカー等の設置



【主な環境関連法規の遵守状況】

		評価日 R6.7.30
環境法規制等の名称	該当項目	遵守状況
廃棄物処理法	委託契約の締結 マニフェストの交付 マニフェストの証明と契約書の5年間保管	遵守
	管理票交付状況の定期報告 多量排出事業者 (産業廃棄物処理計画書、産業廃棄物処理計画実施報告書)	遵守
建設リサイクル法	対象建設工事の届出 (解体工事80㎡以上、建築物の新築・増築500㎡以上)	遵守
騒音規制法	三豊市長へ7日前までに届け出 作業敷地境界にて85デシベル以下	遵守
振動規制法	三豊市長へ7日前までに届け出 作業敷地境界にて75デシベル以下	遵守
フロン排出抑制法	簡易点検:3か月に1回以上 解体時の事前調査	遵守
大気汚染防止法	解体時の事前調査 事前調査結果報告書	遵守
PRTR法	第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質の取扱いに係る管理	遵守
香川県環境基本条例	公害の防止その他の環境への負荷の低減又は自然環境の適正な保全のために必要な措置を講じる	遵守
三豊市環境基本条例	ばい煙、汚水、廃棄物等の処理その他の公害を防止し、または自然環境を適正に保全するために必要な措置を講じる	遵守
	環境への負荷の低減その他の環境の保全および創造に努めるとともに、市が実施する環境保全および創造に関する施策に協力	遵守

環境関連法規等の(29件)遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。

また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

【代表者による全体の評価と見直し】

＜見直し項目＞

◇環境経営方針	変更無
◇環境経営目標・環境経営計画	変更有
◇実施体制・その他	変更無

＜総括＞

本年度の環境目標の達成状況は現場において特に電気と灯油等の燃料の削減目標が達成されていないが工事現場への距離や大小等に左右され止むを得ない。古い設備機器や車両については入替が進んでできている。

環境経営方針については、見直しせず引続き現方針に基づき取り組みを展開していく。

また組織についても現体制で取り組みを進めていくこととする。

＜1ヶ年で評価できる点は＞

- 1) 毎月の安全集会の実施により工事や交通事故に対する安全認識の向上や車両の定期的点検 環境教育訓練が行われている。
- 2) 10月にさぬき浜街道の道路清掃、12月に的場山 避難路階段の清掃活動を実施した。

＜指示事項＞

安全集会において環境教育訓練を実施する。

コロナ感染症再流行の気配有、再び手指の消毒、マスクの着用、室内換気等を実施していく。

ドライブレコーダーの活用及び事務所トイレの修繕を環境経営計画に入れる。

今後も継続して従業員、協力業者等の環境への取り組みの意識の向上をはかっていく。

詫間 正章

実施日 2024年 8月 5日